



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成30年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社  
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 事業管理本部長 (氏名) 北村 哲也 (TEL) 04-2955-1211  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	122,653	22.2	7,559	10.0	7,553	9.3	5,802	26.1	3,834	23.4	7,557	47.9
29年3月期第3四半期	100,385	—	6,873	—	6,913	—	4,599	△3.7	3,108	△2.1	5,108	225.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	159.67	—
29年3月期第3四半期	129.42	—

当第3四半期より完成車事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上収益、営業利益及び税引前利益は継続事業の金額を表示しております。なお、平成29年3月期第3四半期についても組み替えて表示しているため、売上収益、営業利益及び税引前利益の対前年同四半期増減率は表示しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	131,376	72,567	60,070	45.7
29年3月期	130,943	66,622	55,475	42.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—	16.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	17.3	9,500	8.3	9,500	6.5	7,000	1.7	4,500	△5.1	187.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	24,042,700株	29年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	29,280株	29年3月期	29,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	24,013,446株	29年3月期3Q	24,013,452株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成30年3月期第2四半期決算短信（平成29年10月31日）における業績予測から変更しております。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となりえますことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
第3四半期連結会計期間 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、個人消費や設備投資は持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米国の景気は、金融市場の変動影響等が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等が懸念されるものの、各種政策効果もあり、持ち直しの動きが続いております。インドでは内需を中心に緩やかに回復しており、その他のアジア諸国においても、景気はこのところ持ち直しております。欧州主要国の景気は、地政学的リスク、政策に関する不確実性の影響等が懸念されるものの、緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、2020年Vision「卓越した技術と特長ある製品で真の世界ワイドプレイヤーになる」の達成に向け、2017年4月からの中期3カ年（17-19中期）で「グローバルでトップの技術・製品の競争力を実現する」ことを目指し事業を推進しております。「ヤチヨ企業理念」及び「安定した品質と納入」をベースに、「各事業の自主自立」「世界一もしくは世界初の技術・製品の実現」「働き方改革による現場力の飛躍的向上」に取り組んでおります。

当社は2017年12月18日開催の取締役会において、完成車事業を本田技研工業株式会社に譲渡することを決議し、当該事業の業績を非継続事業へ分類しております。これにより、売上収益、営業利益及び税引前四半期利益は、非継続事業を除いた継続事業の数値を記載しております。また、前年同期実績につきましても同様に修正しております。

当第3四半期累計期間の売上収益は、海外での自動車部品の受注の増加や為替換算上の影響などにより、1,226億5千3百万円と前年同期に比べ222億6千8百万円、22.2%の増収となりました。利益につきましては、当社単独で減損損失を計上したことなどはあったものの、増収に伴う利益の増加や原価改善効果などにより営業利益は、75億5千9百万円と前年同期に比べ6億8千6百万円、10.0%の増益となりました。税引前四半期利益は、75億5千3百万円と前年同期に比べ6億4千万円、9.3%の増益、四半期利益は、58億2百万円と前年同期に比べ12億2百万円、26.1%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (日本)

日本においては、前期に熊本地震による減産影響があった二輪部品の受注が回復したことなどにより、売上収益は、191億3千8百万円と前年同期に比べ15億1千4百万円、8.6%の増収となりました。税引前四半期損失は、受注の増加はあったものの当社単独で減損損失を計上したことなどにより、27億4百万円と前年同期に比べ16億2千5百万円の減益となりました。

#### (米州)

米州においては、連結子会社であるヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アメリカ エル エル シー (米国) 及びユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド (米国) における受注の増加などにより、売上収益は、313億8百万円と前年同期に比べ30億5千8百万円、10.8%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加はあったものの、機種構成変化や新機種の立上り費用の増加などにより、3億9千4百万円と前年同期に比べ8億6千5百万円、68.7%の減益となりました。

#### (中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業 (武漢) 有限公司 (中国) 及び八千代工業 (中山) 有限公司 (中国) における受注の増加により、売上収益は、281億5千3百万円と前年同期に比べ100億3千5百万円、55.4%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加などにより、47億7千万円と前年同期に比べ19億2千1百万円、67.4%の増益となりました。

#### (アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド (ベトナム) 及びサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド (タイ) における受注の増加や為替換算上の影響などにより、売上収益は、440億5千3百万円と前年同期に比べ76億6千万円、21.0%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加や為替換算上の影響などにより、52億1千8百万円と前年同期に比べ12億9百万円、30.2%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,313億7千6百万円と前年度に比べ4億3千3百万円の増加となりました。増加した要因は、有形固定資産の減少はあったものの、売却目的で保有する資産や営業債権及びその他の債権が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、588億9百万円と前年度に比べ55億1千3百万円の減少となりました。減少した要因は、借入金が減少したことなどによるものであります。

資本合計は、725億6千7百万円と前年度に比べ59億4千6百万円の増加となりました。増加した要因は、利益剰余金やその他の資本の構成要素が増加したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、法人税等の支払額30億8千2百万円、有形固定資産の取得による支出57億8千7百万円、短期借入金の純減額23億3千9百万円及び長期借入金の返済による支出27億4千4百万円などがあったものの、税引前四半期利益75億5千3百万円、非継続事業からの税引前利益16億4千8百万円、減価償却費及び償却費53億8千4百万円などにより、当第3四半期連結会計期間末における資金残高は169億9千万円となり、前年度に比べ2億9千7百万円増加しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額30億8千2百万円などがあったものの、税引前四半期利益75億5千3百万円、非継続事業からの税引前利益16億4千8百万円、減価償却費及び償却費53億8千4百万円、減損損失17億1千3百万円などにより、前年同期に比べ65億1千3百万円増加し、130億5千7百万円（前年同期は65億4千4百万円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出57億8千7百万円などにより、前年同期に比べ2億6百万円減少し、66億5千2百万円（前年同期は68億5千7百万円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の純減額23億3千9百万円、長期借入金の返済による支出27億4千4百万円、配当金の支払額16億1千1百万円などにより、前年同期に比べ75億7千5百万円増加し、67億7千3百万円（前年同期は8億1百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績の見通しにつきましては、自動車部品の増収に伴う利益の増加や原価改善効果などはあったものの、当社で減損損失を計上したことや、2017年12月に当社の完成車事業を本田技研工業株式会社に譲渡することを決議したことに伴い同事業を非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前利益につきましては継続事業のみの数値を、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、非継続事業を含めた数値を表示しております。これにより、連結業績予想を以下のとおりとしております。

## &lt;連結業績の見通し&gt;

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	163,000	9,500	9,500	7,000	4,500
前期実績(2017年3月期)	138,979	8,770	8,920	6,884	4,743
増減率(%)	17.3	8.3	6.5	1.7	△5.1

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	16,693	16,890
営業債権及びその他の債権	38,376	39,757
その他の金融資産	1,536	2,280
棚卸資産	11,937	10,201
その他の流動資産	1,175	946
小計	69,717	70,074
売却目的で保有する資産	—	6,680
流動資産合計	69,717	76,754
非流動資産		
有形固定資産	49,696	44,450
無形資産及びのれん	6,321	5,324
その他の金融資産	1,557	1,629
繰延税金資産	1,639	1,690
退職給付に係る資産	1,494	1,276
その他の非流動資産	519	254
非流動資産合計	61,226	54,623
資産合計	130,943	131,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	25,754	25,099
借入金	14,458	11,699
その他の金融負債	127	105
未払法人所得税	1,427	1,663
その他の流動負債	5,202	4,036
小計	46,968	42,601
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	1,768
流動負債合計	46,968	44,368
非流動負債		
借入金	6,146	3,839
その他の金融負債	160	164
退職給付に係る負債	5,467	4,845
繰延税金負債	5,129	5,152
その他の非流動負債	451	440
非流動負債合計	17,354	14,441
負債合計	64,322	58,809
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,488	3,488
利益剰余金	46,011	49,124
自己株式	△25	△25
その他の資本の構成要素	2,316	3,796
親会社の所有者に帰属する持分合計	55,475	60,070
非支配持分	11,147	12,498
資本合計	66,622	72,567
負債及び資本合計	130,943	131,376

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
継続事業		
売上収益	100,385	122,653
売上原価	△83,131	△103,888
売上総利益	17,254	18,765
販売費及び一般管理費	△7,655	△8,093
研究開発費	△2,684	△3,196
その他の収益	175	243
その他の費用	△218	△161
営業利益	6,873	7,559
金融収益	228	225
金融費用	△188	△231
税引前四半期利益	6,913	7,553
法人所得税費用	△2,504	△3,420
継続事業からの四半期利益	4,409	4,133
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	191	1,669
四半期利益	4,599	5,802
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,108	3,834
非支配持分	1,491	1,968
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	121.48	90.17
非継続事業	7.94	69.50
基本的1株当たり四半期利益合計	129.42	159.67



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	4,599	5,802
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	169	△ 151
純損益に振り替えられることのない項目 合計	169	△ 151
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	339	1,907
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	339	1,907
その他の包括利益合計	509	1,755
四半期包括利益	5,108	7,557
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,741	5,315
非支配持分	1,367	2,242

## (要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
継続事業		
売上収益	37,580	43,693
売上原価	△30,568	△37,505
売上総利益	7,013	6,189
販売費及び一般管理費	△2,758	△2,717
研究開発費	△730	△1,159
その他の収益	53	43
その他の費用	△34	△88
営業利益	3,544	2,268
金融収益	18	84
金融費用	148	△31
税引前四半期利益	3,710	2,321
法人所得税費用	△1,239	△1,032
継続事業からの四半期利益	2,471	1,289
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	1,529	467
四半期利益	4,000	1,756
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,177	883
非支配持分	823	874
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	68.62	17.31
非継続事業	63.68	19.45
基本的1株当たり四半期利益合計	132.30	36.75

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	4,000	1,756
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	118	△ 53
純損益に振り替えられることのない項目 合計	118	△ 53
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,940	699
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	5,940	699
その他の包括利益合計	6,058	646
四半期包括利益	10,058	2,402
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,402	1,394
非支配持分	1,656	1,008

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2016年4月1日残高	3,686	3,473	41,530	△25
四半期包括利益				
四半期利益			3,108	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	3,108	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				
剰余金の配当			△672	
連結範囲の変動				
非支配持分の取得		15		
所有者との取引等合計	—	15	△672	—
2016年12月31日残高	3,686	3,488	43,965	△25
2017年4月1日残高	3,686	3,488	46,011	△25
四半期包括利益				
四半期利益			3,834	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	3,834	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				△0
剰余金の配当			△720	
連結範囲の変動				
非支配持分の取得				
所有者との取引等合計	—	—	△720	△0
2017年12月31日残高	3,686	3,488	49,124	△25

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2016年4月1日残高	438	2,549	2,988	51,651	10,311	61,962
四半期包括利益						
四半期利益				3,108	1,491	4,599
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	169		169	169		169
在外営業活動体の換算差額		464	464	464	△124	339
四半期包括利益合計	169	464	633	3,741	1,367	5,108
所有者との取引等						
自己株式の取得				—		—
剰余金の配当				△672	△971	△1,643
連結範囲の変動				—	103	103
非支配持分の取得				15	△604	△588
所有者との取引等合計	—	—	—	△657	△1,471	△2,128
2016年12月31日残高	608	3,013	3,621	54,735	10,207	64,942
2017年4月1日残高	600	1,716	2,316	55,475	11,147	66,622
四半期包括利益						
四半期利益				3,834	1,968	5,802
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△151		△151	△151		△151
在外営業活動体の換算差額		1,632	1,632	1,632	275	1,907
四半期包括利益合計	△151	1,632	1,481	5,315	2,242	7,557
所有者との取引等						
自己株式の取得				△0		△0
剰余金の配当				△720	△890	△1,611
連結範囲の変動				—		—
非支配持分の取得				—		—
所有者との取引等合計	—	—	—	△720	△890	△1,611
2017年12月31日残高	448	3,348	3,796	60,070	12,498	72,567

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,913	7,553
非継続事業からの税引前四半期利益	166	1,648
減価償却費及び償却費	5,840	5,384
減損損失	—	1,713
金融収益	△228	△225
金融費用	188	231
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△4,970	△583
棚卸資産の増減額(△は増加)	△784	1,119
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,308	△473
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	120	56
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	205	218
その他(純額)	△1,047	△640
小計	8,710	16,001
配当金の受取額	39	18
利息の受取額	182	214
利息の支払額	△137	△94
法人所得税の支払額又は還付額	△2,250	△3,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,544	13,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,034	△5,787
有形固定資産の売却による収入	191	79
無形資産の取得による支出	△1,140	△1,037
定期預金の預入又は払戻(純額)	690	89
事業譲渡による収入	229	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,803	—
その他(純額)	9	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,857	△6,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,690	△2,339
長期借入による収入	3,300	—
長期借入金の返済による支出	△3,894	△2,744
親会社の所有者への配当金の支払額	△672	△720
非支配持分への配当金の支払額	△971	△890
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△588	—
その他(純額)	△63	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	801	△6,773
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	489	△368
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	665
現金及び現金同等物の期首残高	15,472	16,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,172	16,990

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 非継続事業についての報告セグメントの概要

当社は2017年12月に完成車事業を本田技研工業株式会社に譲渡することを決議したことに伴い、同事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から除いております。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	17,624	28,250	18,118	36,393	—	100,385	—	100,385
セグメント間の内部売上収益	6,006	388	660	479	88	7,621	△7,621	—
合計	23,630	28,638	18,779	36,872	88	108,006	△7,621	100,385
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△1,079	1,260	2,849	4,009	△20	7,018	△106	6,913

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
- 3 株式会社合志テックを日本セグメント、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエリアルティ インコーポレーテッドをアジアセグメントに含めております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	19,138	31,308	28,153	44,053	—	122,653	—	122,653
セグメント間の内部売上収益	7,203	148	1,108	736	106	9,301	△9,301	—
合計	26,342	31,456	29,261	44,789	106	131,954	△9,301	122,653
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△2,704	394	4,770	5,218	2	7,681	△128	7,553

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	7,007	10,073	7,559	12,940	—	37,580	—	37,580
セグメント間の内部売上収益	2,208	87	314	231	21	2,861	△2,861	—
合計	9,216	10,161	7,873	13,171	21	40,442	△2,861	37,580
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	393	322	1,429	1,615	△23	3,736	△26	3,710

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
- 3 株式会社合志テックを日本セグメント、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエリアルティ インコーポレーテッドをアジアセグメントに含めております。

当第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	6,957	10,590	11,039	15,108	—	43,693	—	43,693
セグメント間の内部売上収益	2,557	19	332	224	34	3,166	△3,166	—
合計	9,513	10,608	11,371	15,332	34	46,859	△3,166	43,693
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△1,329	△117	1,985	1,787	△1	2,326	△5	2,321

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。